

養翠園

国指定名勝。池泉回遊式の大庭園。海沿いの立地ゆえ海水を池に取り込んでおり、潮の干満に応じ水面が変化する。



天満神社

菅原道真が大宰府左遷の折、風雨を避けるため和歌浦に立ち寄ったという縁により建立される。和歌浦一円の氏神として崇められている。



東照宮

徳川頼宣により父家康を祀るために造営される。頼宣自体も祭神となっている。豪華・絢爛さは日光東照宮に比される。本殿と拝殿の間に石の間を持つ、「権現造」の建築物である。



玉津島神社

和歌の神様として信仰を集めてきた神社。当初は玉津島そのもの(玉津島を含む島々)が神として祀られていたと考えられる。



# コース 13 和歌浦・雑賀崎

万葉の時代、南海道を経て紀伊国に行幸した天皇たちは、和歌浦の景観に感動し、そのすばらしさを多くの歌に詠みました。山部赤人等宮廷歌人による和歌浦・玉津島を讃える歌も多く残されています。コースは市内西浜地区までバスを利用(長路バス停)、そこから雑賀崎へ向かい、風景を楽しみながら紀三井寺まで歩きます。

JR・南海和歌山市駅 JR和歌山駅

バスで移動 4.7km 15分 7.3km 30分

出発 長路バス停

0.8km 16分

養翠園

2.5km 50分

番所の鼻

3.7km 74分

天満神社

1.5km 30分

片男波・万葉館

2.8km 56分

紀三井寺

0.7km 14分

到着 JR紀三井寺駅

不老橋

アーチ型の石橋。和歌祭の際、徳川家を通る「御成道」として架橋されたもの。勾欄部分の雲を文様化した彫刻が優れている。



妹背山・三断橋

玉津島神社から妹背山に繋がる県内最古の石橋。中国の杭州西湖の六橋を模したとされ、小アーチ型橋を3カ所繋げている。徳川頼宣により架橋される。



名草山

名草山は万葉集にも詠われている。和歌の浦の背景を形作るなだらかな山。海側から眺めると心が慰められる風景である。



MAP A 雑賀崎周辺



MAP B 田野浦から高津子山

- ウォークコース
- 南海道
- 灌漑用水路
- 万葉故地
- 道標
- 城跡
- 公園・緑地
- 寺
- 神社
- 見どころ
- 国道
- 県道
- 駅
- 学校

0 500m



# 和歌浦・雑賀崎



## 和歌の浦・玉津島 一聖武天皇行幸と万葉歌一

和歌の浦の歴史は、神亀元年(724)に聖武天皇が紀伊国行幸で玉津島まで来られた時に始まります。

当時紀の川河口は現和歌川の流路で和歌浦湾に注いでいて、玉津島付近は砂洲、小島の浮かぶ地であり、聖武天皇はこの景観に感動し、これを保護するよう詔を発せられました。この時従駕した山部赤人等宮廷歌人は、玉津島の讃歌や片男波の情景に感動した歌々を残しています。和歌の浦の景観は、歌枕として後々まで有名となります。

やすみし わご大君の 常宮と  
仕へ奉れる 雑賀野中  
そがひに見ゆる 沖つ島  
清き渚に 風吹けば 白波騒ぎ  
潮干れば 玉藻刈りつつ  
神代よりしかぞ貴き 玉津島山

和歌の浦に 潮満ち来れば  
瀉をなみ 葦辺をさして 鶴鳴き渡る

名草山 言にしありけり 我が恋ふる  
千重の一重も 慰めなくに



高津子山からの和歌浦湾眺望

## 和歌の浦 一その後の景観の整備と保全 (名勝指定)一

和歌の浦は近世に入っても紀州徳川家により整備、保護されます。東照宮、妹背山多宝塔、観海閣など、新たな景観を形成する建造物も建立され、名所としての名声は高まります。そして現代においては、かつての島嶼は妹背山が唯一の島として残り、他は鏡山、雲蓋山、奠供山など陸地での小山として新たな景観を形成、さらに片男波公園の整備により市民の文化・レクリエーション地域となっており、一帯は国により名勝と指定され保全されています。

### 片男波公園

万葉歌でも詠われた風光の地を、長い砂洲半島を主体に歴史的景観に配慮して公園整備。散策路、万葉館、海水浴場など市民の憩いの場となっています。

## その他このコースでの見どころ

### 養翠園

国指定名勝。池泉回遊式の大名庭園。海沿いの立地ゆえ海水を池に取り込んでおり、潮の干満に応じて水面が変化します。

### 湊御殿

紀州藩主の隠居所として造営されました。何度かの焼失・再建を経て奥御殿の建物が養翠園に隣接する現在の地に移設されました。

### 番所庭園

番所の鼻と呼ばれ、海に突き出た地形が海防・見張りの要地でした。今は、大芝生のある庭園として海洋眺望絶佳の地です。

### 紀三井寺

名草山中腹にある寺院。山内に三つの井戸があることが名前の由来とされています。西国三十三所の2番札所です。

### 妹背山・多宝塔

玉津島神社から東側に三断橋を渡ったところにある小山。昔和歌浦湾に浮かんでいた島嶼で唯一現在も“島”として残っています。紀州藩初代藩主徳川頼宣により整備されました。多宝塔は頼宣の生母養寿院の遺骨が収納されており、また塔下の石室には15万個以上の経石が納められていました。

### 東照宮

徳川頼宣により父家康を祀るために造営されました。頼宣自体も祭神となっています。豪華・絢爛さは日光東照宮と比較されます。本殿と拝殿の間に石の間を持つ、「権現造」の建築物です。

この神社の例祭は江戸時代から国中一の大祭で、近年、「和歌祭」と復興し親しまれています。

### 雑賀崎の夕陽

雑賀崎の岬から見る夕日は絶景で特に彼岸の中日に、観光灯台から「はながふる」特別な夕日が見られる、ということでカメラファンが集まります。



雑賀崎の夕陽

### 高津子山

標高136mと低い山ですが、頂上から360度のパノラマ展望は絶景。特に和歌の浦を一望するベストスポットです。

### 水軒堤防

江戸時代に紀の川河口部南岸に築かれた約1kmに亘る堤防跡。